

わくわく橘っ子

橘小学校

人権教育便り NO. 5

令和6年6月



～盲導犬ユーザーの鶴野克子さんに学ぼう～

6月3日（月）、盲導犬ユーザーの鶴野克子さんと盲導犬「ディア」をお迎えして、視覚障がい者のくらしから「私たちがこれからできること」について学びました。

最初に、鶴野さんがディアくんのハーネスを外し、子どもたち一人一人にふれ合いタイムをつくっていただきました。9才のディアくんはとても落ち着いていて、子どもたちに嬉しそうにしっぽを振りながら触らせてくださいました。

次に、鶴野さんの生活の中で困ったことを、五つの約束として話してくださいました。

最後に、盲導犬に関する〇×クイズを通して、「私たちが今すぐできること」を教えてくださいました。誰もが住みよい社会にするために、子どもたちが学んだことを振り返り、書いた作文を一部紹介します。

○ディアくんへ つるのさんがきけんなときは、ひざのまえにでて、「あぶないよ。」とあいずをするディアくん、すごいね。ながいじかん、つるのさんをじっとまっているのもすごいね。きょうは、さわらせてくれてありがとう。（1年生）

○つるのさんへ ○×クイズをして、わたしたちが気をつけることをおしえてくれてありがとうございました。ディアくんをつるのさんは心がつながっているんですね。ディアくんをさわらせてくれたとき、フワフワでした。（2年生）

○つるのさん、とおくから橘小学校までディアくんをつれて来てくれてありがとうございました。今日のクイズでもうどう犬の仕事とぼくたちが守らなければならないルールがよく分かりました。これから、町で目の不自由な方に会ったら、やさしい気持ちで声をかけます。（3年生）

○私がびっくりしたクイズは、「盲導犬は言うことをきかないことがある。」が○だったことです。そのわけが、ユーザーさんを守るためと知り、つるのさんとディアくんのふかい絆を感じました。つるのさんのお話を聞いて、世の中のみんなが元気でくらすることが一番だと感じました。（4年生）

○盲導犬の他にも聴導犬や介助犬がいることを知りました。また、鶴野さんが家に帰ってきてくつを脱いだら、ディアくんの仕事がお休みモードになることに驚きました。○×クイズで、「盲導犬が仕事中のときはむやみに声をかけない。」「ユーザーさんが信号待ちしていたら『何か困っていることはありませんか。』と声かけしてもよい。」ことを学びました。（5年生）

○「そこらへんにゴミを捨てない。」「決められた場所に自転車を停める。」この二つは、私たちが今すぐできることだから、守りたいと思いました。横断歩道や細い道で目の見えない方や体が不自由な方が困っていたら、声をかけて助けます。（6年生）



